

独自のシーズを多様なコースへ

1-Wire方式 + アナログ技術 = 多点計測



ノイズに強く高精度・高分解能な温度測定が可能



空間温度用センサ



表面温度用センサ



基板一体型温度センサ

1-Wireの実力

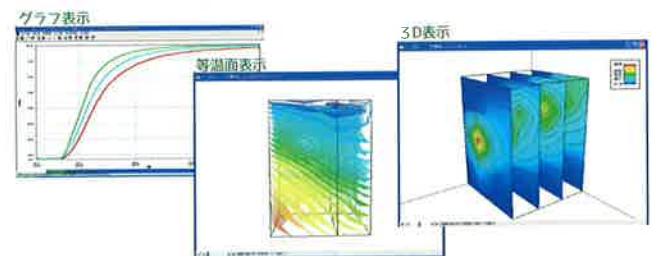
温度、電圧、パルスなどを計測する“超”多チャンネルのデータロガー“TempLAN”。各センサの信号はデジタルでノイズに強く、一本の信号線上で通信/制御を可能にしています。各センサには固有のIDが割り振られているため、データロガー側から指定されたセンサのみが反応します。また、指令はすべて同時に行われるロギングシステムを実現しており、例えば1000点の測定ポイントでも同期されたデータを読み込みます。

入力センサ	温度
測定時間	測定点数× 0.1秒 + 0.75秒
測定間隔	15秒 / 125点
データ長	パソコンのHDDに依存
Interface	Ether Net, RS232C
電源	AC100V
温度センサ	-20 ~ +100℃
測定精度	±0.2℃ (0~50℃)
分解能	0.0625℃

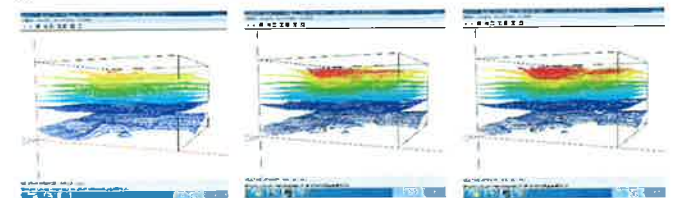
本物の空間温度

◆秀逸な3次元解析ソフトウェア

空間温度の測定データを三次元で分かりやすく表示します。測定条件の設定、データ収集、データファイリング、データ表示(数値)が設定可能です。これまでに測定されたデータを3次元に起こすことも可能です。



◆空調機の時系列時間軸温度アニメーション

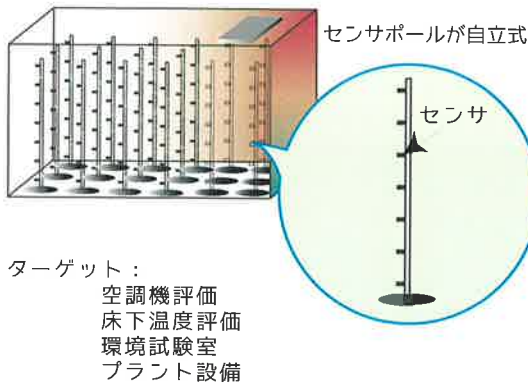


■このカタログに記載内容は2015年1月23日現在のものです。
カタログの記載事項/仕様はお断りなく変更することがあります。
詳しい商品情報は右の連絡先または、弊社H.P.にてご確認ください。
■外為法に基づく注意事項：
当社製品を輸出または国外へ持ち出す際は、弊社までご相談ください。

活用事例

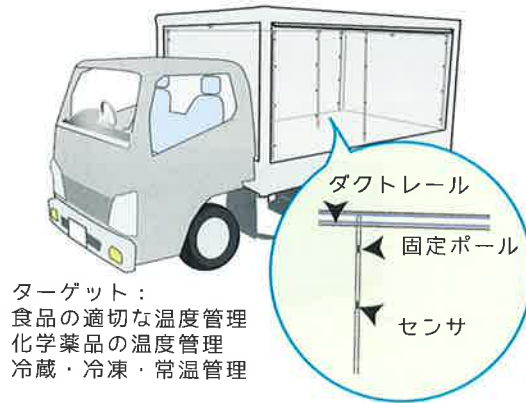
◆ターゲットによって1-Wireの利点を生かした手法がご提案可能です◆

空間温度測定 の例



スタブ式とスター式のコンビネーション
マスターを起点として最も遠いスレーブまで延びる幹線と、その近傍で分割され、長さの異なる複数の支線の形で延ばすことで、多点計測を同時ロギングで実現しています。

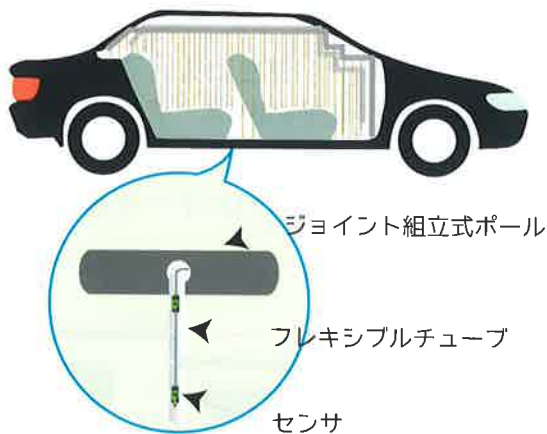
温度管理輸送 の例



ダクトレールを使用して設置の手間を軽減
測定しない時にはセンサーとケーブルをダクトレール内に収納できる事で、設置/撤去の時短効果を生んでいます。
“一本の信号”は車体装備時のアイデアを増やしてくれます。

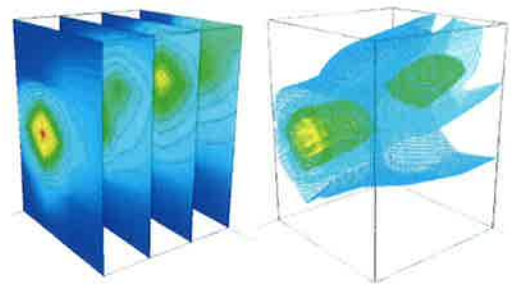
◆1000点を超える測定ポイントでも同時測定が可能になります◆

車内の空調評価の例



任意の空間形状に合わせた治具での計測
車内空調を評価する際に1-Wireロギング式は有効です。専用治具をモデリングデータで治具化すれば、工数は大幅削減かつ高精度なデータが取得できます。

筐体空間温度の三次元測定



筐体に熱を加えた温度分布と時間軸

三次元アニメーションで高精度な解析

3Dでの温度分布は、筐体内熱源の時間軸解析に効果的です。ターゲットの温度帯を、過去と現モデルの時間軸アニメーションで比較測定/可視化することで、解析時間を減らします。

三次元可視化ソフトウェア推奨PCスペック

OS	Windows 7/8/XP/Vista
メインメモリ	2GB以上 (win7,8) 1GB以上 (XP)
ハードディスク	1GB以上の空き容量
インターフェース	USB2.0以上を1ポート

確認済みのデータロガー

キーエンス社	NR-600シリーズ
グラフテック社	GLシリーズ
日置電機社	LRシリーズ,8860シリーズ
横河電機社	SMARTDAC+GM,MX100シリーズ